

●具体的な検討について: 12/22(木) 16:00～17:00 地歴公民科教科指導講座(研修)において、公民科教員3名と指導主事で実施。

(※別途、市立高校社会科研究会会長より、市立高校地歴公民科教員全員に「案」を送付、意見募集中)

●「案」に対しての意見(指摘事項)

「ライト版」について

- ・やはり1時間では、アイディアは出にくいし、出た意見も大したものにならない可能性が非常に高い。
- ・また、意見を出したとしても、ただ言うだけになってしまい、深い学びに繋がらない。
- ・上記のような観点からも、列挙されている「授業目的」のうち、4つ目(自覚の涵養)くらいしか狙えない。

「3コマ程度版」について

- ・公民科目の授業(「公共」など)で実施するとしたらこちらの案をベースに考えたい。
- ・例えば「公共」の学習内容からすると、「大項目 B 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち」の(2)主として政治に関わる事項についての学習(政治参加と公正な世論の形成, 地方自治, 国家主権, 領土(領海, 領空を含む。), 我が国の安全保障と防衛, 国際貢献を含む国際社会における我が国の役割など)のまとめとして実施するか, 「大項目 C 持続可能な社会づくりの主体となる私たち」という, 科目全体のまとめとして行う探究活動において実施することが考えられる。
- ・列挙されている「授業目的」を達成する、という観点からすると、1つ目(関心・多面的考察)については、外部の方とのやり取りがないと深まらない、との認識。
- ・現場としては、外部の方が学校に来てくださり、生徒と直接やり取りする時間が非常に貴重。また、主に外部の方を活用する、という観点からすると、下のような形で、例えば3回の来校など、計画的に参画いただく流れを考えたい。

(例)

- ①課題設定・問題提起 … 一連の取組の初回に、具体的なミッションとその説明をしていただく。
- ②中間報告・内容深化 … 生徒たちが検討を進めている途中で報告を聞き、よりよい学びになるよう返しをいただく。
- ③最終報告・次へ繋ぐ … 最終成果を聞いていただくことはもちろん、それに対してのフィードバックをいただく。
- ・上記のように、ある程度授業内に外部の方に話していただいたり、生徒の報告を聞きやり取りをしていただく時間を十分にとることを優先するよう考えると、以下の内容について整理を考えたい。
 - 一般的な「パブリックコメント」に関わる説明等は、事前に授業内で教員が終えておくことができるので割愛。
(京都市の姿勢…についても、概要を事前に話しておくことも可能か)
 - 「インタビューのマナー・ポイント」に関わる説明のうち、比較的一般的なスキルの部分は、最近各校が「総合的な探究の時間」において「社会調査」を学ぶ際に取り扱うなどしていることから、縮小もしくは割愛。
- ・外部の方をお願いしたいこと(期待したいこと)としては、上記①「課題設定・問題提起」がより真に迫ったものになるのでは、というところと、生徒たちが提案した内容が実際に市政や政策、各活動などにどのように反映されたか(もしくは反映に向けて試みがなされたか)を知り、社会を変える(維持する)ことに具体的に关わる体験となるのではというところになる。

●「案」を踏まえて期待される内容(提案)

- ・一番期待したいことは、「現在、検討中のこと」「直近に何らか行われる想定があること」「何らかの判断により変わりうること」についてのパブリックコメントを求めるとい形にできないか、という点。例えば「近くの公園を再開発する予定」があり、再開発の内容について期限を切って意見を募集しておりそれに関する検討を行うとか、具体的であることが望ましい。
- ・生徒たちが真剣に取り組んだ結果のフィードバックもきちんとあるとありがたい(生徒の社会参画意識向上のためには特に大切!)。生徒が考えた意見や提案がどのように開発の検討をする際に検討の遡上に挙げられるのか(検討の際に考慮をしていただいたか)が何らかわかる、といった形が明確であることが望ましい。
- ・外部の方に来ていただいたときは、外部の方にしかできないことを集中して取り組んでいただくプログラムにできないか。基本は、最初(課題提示)と最後(生徒提案を聞き、フィードバック)に来校いただく形か。